

11月8日はいい歯の日



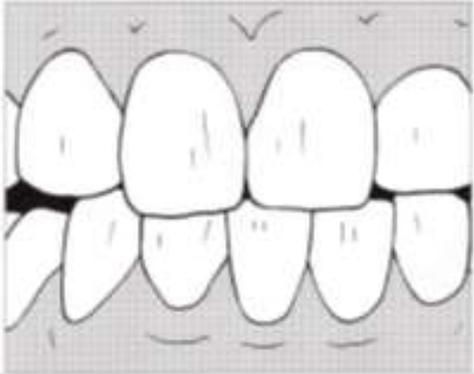
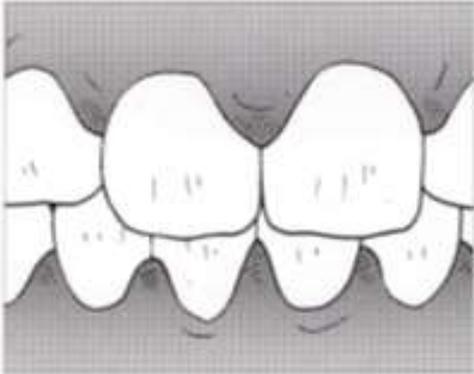
10代の口の病気 = 虫歯 < 歯肉炎

歯肉炎は、

<初期>痛みを感じないが、治療しないと腫れて、歯ブラシの先が当たるだけでも痛みを感じ、歯磨きしにくくなる。

<悪化すると>歯肉の下の骨まで歯周炎になり、歯を失うことにもある。

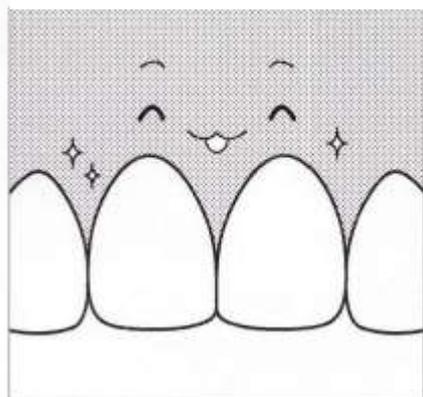
<そのため>歯磨きをする時は、鏡で歯肉をチェックして、軽度の歯肉炎のうちに適切なケアをすることが大切。

チェックポイント	健康な歯肉	歯肉炎
外観		
色	薄いピンク	赤い
形	三角形	丸い
触ると	引き締まっている	プヨプヨしている
歯磨きの時	血は出ない	血が出る

歯肉炎が起こる仕組み

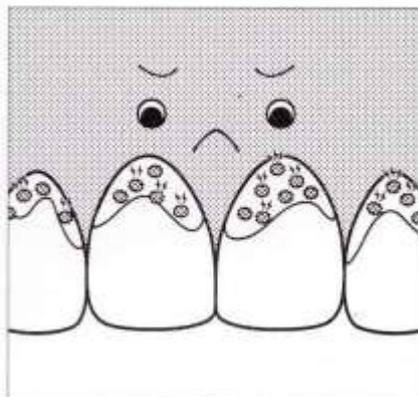
1

歯肉炎を起こす菌は、健康な歯の表面にもいますが、数が増えて歯垢にならなければ、歯肉に影響しません。



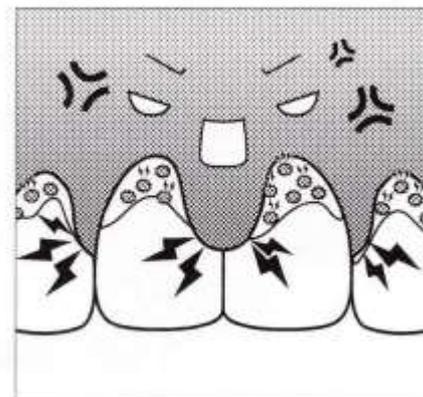
2

歯垢がたまと歯垢が歯肉に接して、歯垢中の細菌が刺激物質を出します。



3

細菌を攻撃するために歯肉は血液量を増やし、細菌と戦う物質を出します。
⇒赤く腫れる



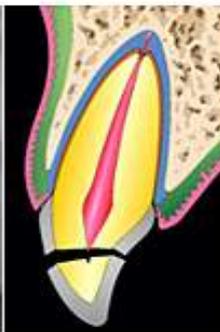
歯肉炎になってしまったら・・・？

もし、歯肉炎の症状が出てきてしまったら、歯磨きと食事の仕方を見直してみましよう！



高校生の歯と口のけが

上の前歯が多い。早期に前歯を失うことによる、摂食機能、発音機能等の障害、心身に及ぼす影響が多大。



12歳の少年の歯がけがで折れ、歯の神経(歯髄)が露出していましたが、歯髄は生きていました。

トウスキーパー



牛乳



歯が欠けた！ 歯が抜けた！

ケガで抜けた歯が助かるかどうかは、歯についている歯根膜が生きているかどうかにかかっています。歯根膜は乾燥に弱いので、すぐに、牛乳・トウスキーパーに保存することが重要です。